

令和2年度版 改善計画

学校名：大里小学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	① R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	会議に時間がかかり、個人の教材研究の時間確保が難しい。	議題の精選による会議時間の短縮と終了時刻の設定。校務支援システムの活用	① ・勤務・議題について可能なものは、校務支援システムの掲示板または文書提案のみにする。 ・連絡事項は原則協議をしない。 ② ・勤務時間内の会議完全終了。	
2	学校行事の負担軽減	準備期間が長く、かつ取組内容が多い。	行事に関し内容と取り組みの精選の再検討。保護者の理解。	① ・行事運営のマニュアル化、簡素化。 ・スクラップ・アンド・ビルドの意識化 ・対外的な行事への対応の検討、見直し。 ② ・主任を中心とした各行事内容の再検討。	
3	校内組織の見直し	時期によって業務内容が多く、多忙感を抱く教師がいる。	校務分掌の平均化。	① ・放課後等職員間の情報交換やフォローの確認。業務内容の多い主任の仕事内容の振り分け。 ・必要に応じて副主任の設置検討。 ② ・主任を中心としたOJTの実施。	
4	業務の効率化	電子データが共有されきれていない。児童のノートチェックに時間がかかる	電子データの整備。校務支援システムの完全習得。効率的な学習指導の習得	① ・主幹、情報主任を中心とした電子データの整備と共有化。 ・効率的な学習指導のあり方、方法についての検討。 ・学習指導に関する職員の意識改革。 ② ・新校務支援システムに関する情報収集と対応の準備。	
5	部活動の負担軽減				
6	地域人材の活用	学校行事や授業支援への地域人材データベース化とさらなる人材の発掘。	地域人材リストの見直し作成。	① ・各学年で活用している地域人材のリスト作成と共有化。地域、保護者への呼びかけ ② ・学校教育活動支援の保護者への呼びかけ。	
7	(学校独自の項目) 定時退勤とワークライフバランスの取組	退勤時間が遅い。	事務仕事の優先順位の設定 職員の精神面の健康管理 全員退勤の日の設定	① ・退勤時刻をボードに記載するなど意識化を図る。 ・月2回全職員が一斉帰宅する日の設定。 (第2・第4水曜日) ・県から来ているメンタルヘルス事業の紹介や斡旋SCやSSWの活用。 ② ・自己申告による月2回以上の定時退勤の定着。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に甲府市教育委員会に提出する。A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

●R2年度における「きずなの日」の年間回数

(22)回

